インパクト志向金融宣言

第2回　リアルギャザリング（旧ワーキングレベル会合）

2026年10月23日 09:30〜11:30
オンライン・リアル同時開催

インパクト志向金融宣言
Japan Impact-driven Financing Initiative

本日のアジェンダ

1. 新規署名機関/賛同機関/アドバイザー紹介
2. 講演「AIとウェルビーイング」について　ゲストスピーカー帝京大学 城戸 隆教授
3. 【トピックス】
   - 人材育成研修の開始(GLIN)
   - プログレスレポート報告（事務局）
   - コンファレンス報告（事務局・分科会）
   - サステナビリティ報告書 別冊「Impact Book」のご紹介（農林中金様）
   - 欧州でビジネスを行なっている日系企業に対するESRS開示、特にインパクト開示の適用に関する論点（国際監査・保証基準審議会（IAASB）ボードメンバー大野 美希子様）
   - 会計報告

新規署名機関・賛同機関・アドバイザーの紹介

- 10月1日時点署名機関数は79社（署名金融機関69社、署名協力機関10社）

署名日	署名金融機関	署名協力機関
10月1日付	一般社団法人 ソーシャル・ イノベーション・パートナーズ	

- 賛同機関：一般社団法人インパクトマネジメント実践機構（AIIM）
- 賛同機関：Climate Bonds Initiative
- 新規アドバイザー　小沼泰之氏

AIIM ｜ 一般社団法人インパクトマネジメント実践機構

Asia Institute for Impact Management Practice

2026年4月設立
一般社団法人（非営利型）

アジアにおけるインパクトマネジメントの「知と実践の橋渡し」を目指す専門組織

団体概要

Impact Frontiersの知見をアジアの市場環境や実務に機能する形へと再構成する「翻訳」を起点に、投資家・事業会社・学術界・政府・市民社会と協働しながら、インパクトマネジメントの「知と実践の橋渡し」を担う専門組織。

母体組織：Impact Frontiers

2015年設立（米国ボストン、501(c)3非営利団体）。2,000以上のインパクト投資機関が賛同するイニシアティブ。Impact Management Project（IMP）の後継組織。

組織体制

社員　Mike McCreless氏（Bridges Impact Foundation, Executive Director）、須藤奈応
理事　須藤奈応、富澤由佳、田中悠太
アドバイザー　白石智哉（フロネシス・パートナーズ）、渡邉貴久（リンクレーターズ）他
チーム　水流早貴

活動内容

フィールドビルディング

投資家・起業家ネットワークと協働し、実践知の形成に貢献。ワーキンググループの設計・運営・ファシリテーション。

実践型ワークショップ

Impact Frontiersの教材を基盤に、アジアの市場環境や実務に即して「翻訳」した学びの機会を提供。

調査

インパクトマネジメントに焦点をあてた、インパクト投資や事業に対する各種調査研究の実施。

その他

イベント登壇、寄稿、国際カンファレンスでの知見共有など。

Climate Bonds Initiative ｜ クライメート・ボンズ・イニシアチブ

気候変動対策のためのグローバル資本動員を牽引する国際　NGO

2010年設立
英国登録チャリティ（ No.1154413）

科学的根拠に基づく基準づくりを通じ、グリーン・サステナブル債券市場の成長を牽引する国際組織

団体概要

科学的根拠に基づくタクソノミーや基準、認証制度、データ・インサイトの提供、そして政策・技術面での専門的助言を通じて、グリーン・サステナブル債券市場の成長を牽引する国際NGO。2010年の設立以来、グリーンボンド市場をニッチな概念から主流の資金調達手段へと押し上げる中心的役割を担ってきた。

市場規模

グリーン・サステナブル債券市場は兆米ドルを超える規模に成長し、さらに拡大を続けている。

活動方針（ 4つの柱）

触発する　投資家によるグリーン・レジリエントな未来への転換を後押しする
実証する　グリーン投資への需要と、そのインパクト・リターンを示す
働きかける　グリーン・レジリエント投資を促す政策を政府に働きかけ支援する
牽引する　グリーン基準の策定・更新・モニタリングを通じ、質の高い市場拡大を牽引する

専門分野

タクソノミー

科学的根拠に基づくグリーン・トランジション投資の判断基準を策定・提供。世界各地で0近いタクソノミー策定を支援。

基準・セクター基準・認証

Climate Bonds Standardおよびセクター別基準に基づく、債券の認証制度を運営。

政策提言

各国政府・規制当局に対し、気候関連の政策・規制面での専門的助言を提供。

トランジションファイナンス

高排出セクターの低炭素移行を支えるファイナンス手法の普及を推進。

新規アドバイザーについて（9月運営委員会決議）



小沼　泰之（こぬまやすゆき）氏
1961年7月30日生
学歴
1984年3月　　慶應義塾大学経済学部卒業
1992年5月　　米国カリフォルニア大学バークレー校経営学修士課程修了
職歴
1984年4月　　東京証券取引所入社
2007年6月　株式会社東京証券取引所　国際企画部長
2007年11月　　上場部長兼上場推進室長
2011年4月　執行役員兼上場推進部長
2017年4月　　取締役常務執行役員（上場部・上場推進部担当）
2020年 4月 取締役専務執行役員（上場部・上場推進部・株式部 (クライアントRM)・金融リテラシーサポート部担当）
2023年4月　株式会社日本取引所グループ執行役　株式会社日本証券クリアリング機構　代表取締役社長
2026年4月　株式会社日本証券クリアリング機構　参与 (現任)
【外部団体関係】
2012年9月～同年12月　　金融審議会「投資信託・投資法人法制の見直しに関するワーキング・グループ」委員
2018年8月～2019年2月　　GSG)国内諮問委員会ソーシャル・エクイティファイナンス分科会参加者
2020年12月～2023年3月　　金融庁「サステナブルファイナンス有識者会合」メンバー
2016年6月～2023年7月　　公益社団法人　日本証券アナリスト協会　理事
2017年4月～2019年9月　　日本公認会計士協会　品質管理審議会　外部委員
2017年6月～2023年3月　　一般社団法人　投資信託協会　理事
2019年6月～2023年3月　　一般社団法人　投資顧問業協会　理事

帝京大学 城戸 隆 教授によるご講演

「AIとウェルビーイング」

学歴

1996年3月：慶應義塾大学大学院理工学研究科計算機科学専攻博士課程修了

主な職歴

- NTT情報通信研究所 研究員、NTTサイバースペース研究所 情報ベースプロジェクト研究主任
- 株式会社HuBit Genomix 疾患関連解析の研究開発に従事
- スタンフォード大学医学部（ Stanford Microarray Database group）客員研究員
- 株式会社理研ジェネシス 研究マネージャー / シニアサイエンティスト
- AIベンチャー企業 Preferred Networks（PFN）研究開発
- 帝京大学先端総合研究機構 教授を経て、現職（共通教育センター教授）

専門分野・研究テーマ

遺伝子解析（バイオインフォマティクス、パーソナルゲノム医療）、人工知能（AI）、「AIとHumanity（人間らしさ・倫理）」をキーワードにした研究・教育

最近の論文

AI and Well-Being: Enhancing Health, Happiness and Cultural Understanding

- (Proceedings of the International Conference on Human-Computer Interaction (HCI 2024), Lecture Notes in Computer Science 93 - 102 2024年12月)

Evaluating Large Language Models with RAG Capability: A Perspective from Robot Behavior Planning and Execution.

- Jin Yamanaka; Takashi Kido, AAAI Spring Symposia 452 - 456 2024年03月 [査読論文]

AI Health Agents: Pathway2vec, ReflectE, Category Theory, and Longevity.

- Melanie Swan; Takashi Kido; Eric Roland; Renato P. dos Santos, AAAI Spring Symposia 426 - 433 2024年03月 [査読論文]

The Challenges for GenAI in Social and Individual Well-Being.

- Takashi Kido; Keiki Takadama, AAAI Spring Symposia 365 - 367 2024年03月

最近の著書

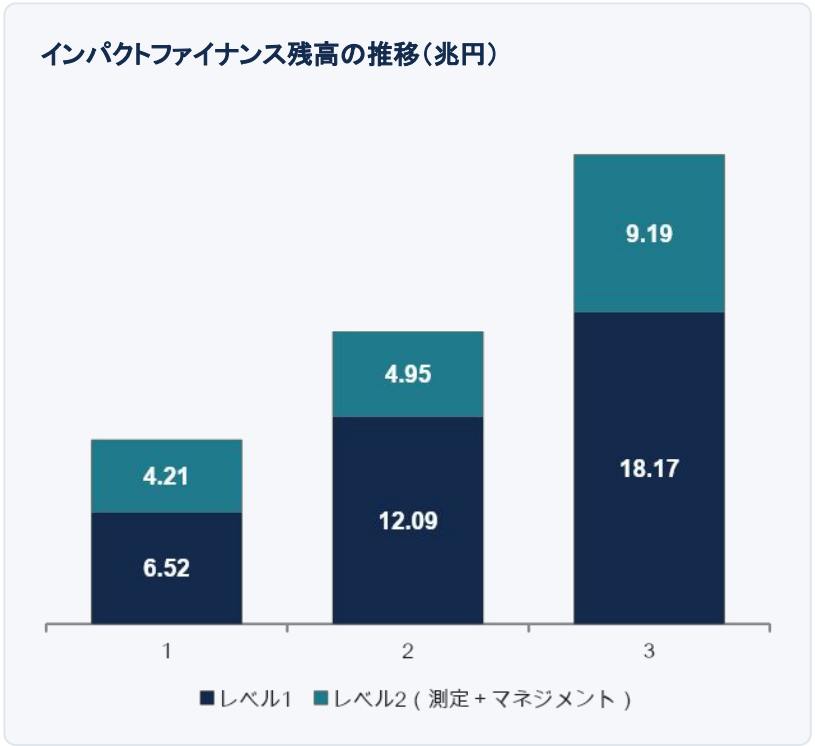
「AIとヒューマニズム」帝京新書011、甘利俊一編、2026年9月

人材育成研修開始について

別資料

インパクト志向金融宣言 プログレスレポート2026 の要点

残高は17兆円から27兆円へ拡大し、IMM実践の「質」も深化（対象期間：2025年1月～2026年3月）



27.36兆円

インパクトファイナンス残高
前回比＋約61%

9.19兆円

レベル2残高
前回比＋86%

77機関

署名機関数
金融67社＋協力10社

1 国内市場での実践が本格化

国内向け比率が53.2%→66.7%に上昇。アセットクラス別では融資が約7割、融資・債券を合わせたデットが93%。

2 活動の質・量が充実

7分科会で年間83回の会合を開催。PIF実践ガイダンス、ソーシャル指標事例集、デットIMMガイダンス（別冊）等を発行。

3 「自走化」を実現

2025年4月に会費制へ移行。署名機関数は一時減少後、エンゲージメントにより再び増加し77機関に。

4 新体制とガバナンス強化

新中期計画・新ToCを策定（2025年8月）、枠組み検討会を新設（11月）。初の書籍『意図をもつ金融』も刊行。

出所：インパクト志向金融宣言「プログレスレポート2026」プレス発表（2026年8月28日）。署名機関数は2026年4月1日時点。レベル別残高は百万円単位の公表値を兆円換算。

9月2－3日　IDFI5周年記念コンファレンス開催概要

国内外から608名が参加し、2日間で全21セッションを実施。

608
名の参加者
（対面309／オンライン299）

21
セッション
（2日間・並行セッション含む）

63
名の登壇者
（総合司会含む）

4.36 / 5
アンケート平均推奨度
（全セッション平均、回答84件）

開催情報

日時	2026年9月2日（水）～3日（木）
会場	コングレスクエア日本橋（東京建物株式会社様よりご提供）
形式	対面＋オンライン配信のハイブリッド開催（同時通訳・字幕付き）
延べ参加	3,489件（対面2,562件／オンライン927件）

ご協賛スポンサー（9社）

TRP様
Mediterrania Capital Partners様
Community Investment Management様
Omnivore Ventures様
LeapFrog様
NAM様
BlueMark様
R&I様
SJF様

特別協賛スポンサー（1社）

東京建物様

プログラム（全21セッション）

国内外のトップリーダー・実務家が登壇し、基調パネルから分科会企画・ラウンドテーブルまで多面的な議論を展開。

DAY 1　9月2日（水）　Hall A/B・C/D			
10:00	全体	オープニング挨拶	伊藤 豊（金融庁長官）
10:05	基調①	日本の経営トップが語るインパクト志向金融	亀澤 宏規（MUFG）、木下 康司（JPX）、水口 剛（高崎経済大学）
10:55	基調②	インパクト志向金融の世界のトレンドと、真の課題解決に向けてあるべき姿とは？	Amit Bouri（GIIN）、小笠原 由佳（IDFI）
11:50	基調③	インパクト志向金融で目指すべきもの	桐原 健寿（肥後銀行）、春名 貴之（かんぽ生命）、藤井 智朗（ニッセイアセットマネジメント）、Amit Bouri（GIIN）（コメント）、須藤 奈応（Impact Frontiers/AIIM/GIIN）
14:00	基調④	インパクトマネジメントの現在地と将来	Joohee Rand（GIIN/OPIM）、Mike McCreless（Impact Frontiers）
14:55	報告	インパクト志向金融宣言の新しい活動領域の発表	安間 匡明（IDFI）、水口 剛（高崎経済大学）、中村 麻紀（IDFI）
15:30	Hall A/B	金融機関のインパクト・アカウンタビリティのあるべき姿とは？	大類 雄司（R&I）、Christina Leijonhufvud（BlueMark）、斉藤 圭（日清食品HD）、髙月 耕太郎（三菱地所）、荻野 春香（三菱UFJ銀行）、今田 克司（SIMI）
15:30	Hall C/D	なぜアセットオーナーはインパクト投資に取り組むのか　GIIN日本会合が示す4つの主張	Sean Gilbert（GIIN）、加藤 正裕（三菱UFJ信託銀行）、加藤 有也（SIIF）、長﨑 智裕（三井住友信託銀行）、野村 裕之（かんぽ生命）、道脇 祐介（三菱UFJ信託銀行）、須藤 奈応（Impact Frontiers/AIIM/GIIN）
17:05	Hall A/B	グローバルなサステナビリティ課題解決と長期資本の役割	飯野 厚子（KKR）、横山 正（IFC）、Matt Lawton（T. Rowe Price）
17:05	Hall C/D	【融資・債券分科会】デット分野のインパクトファイナンスにおける現状とエンゲージメントの実践	池田 周平（みずほFG）、大崎 能正（明治安田生命）、髙田 英樹（財務省）、飯塚 成（中国電力）、清水 一滴（GX推進機構）
18:30	懇親会	インパクト志向金融宣言設立5周年記念レセプション	ネットワーキング

DAY 2　9月3日（木）　Hall A・B			
10:00	Hall A	【VC限定】Impact Frontiers マイク・マクレアリーとのファイアサイドチャット	Mike McCreless（Impact Frontiers）
11:00	Hall A	GIINシニアリーダーシップとのラウンドテーブル	Amit Bouri（GIIN）、Sean Gilbert（GIIN）
12:15	Hall A	Impact Principles Luncheon	Di Fu（Temasek）、Frances Holliday（LeapFrog）、桑原 知広（JICA）、堤 治紀（東京海上HD）、Joohee Rand（GIIN/OPIM）、加藤 有也（SIIF）
14:00	Hall A	アセットオーナーの視点 — インパクトをポートフォリオにどう実装するか	Eliza Foo（Temasek）、松本 千賀子（三井住友トラストG）、森 順次（農林中央金庫）、中村 将人（GLIN）
14:00	Hall B	【地域金融分科会】地域のシステムチェンジに向けたアプローチとシステムチェンジファイナンスの考え方	北原 菜由香（PwCコンサルティング）、田代 達生（カンダまちおこし）、鄭 鉉澈（静岡銀行）、金井 司（IDFI）
15:30	Hall A	米国インパクト投資の進化と日本の新興エコシステムへの示唆	Andrew Garrett（Impact Capital Managers）、Dave Kirkpatrick（SJF Ventures）、Michael Hokenson（Community Investment Management）、秦 雅弘（GLIN）
15:30	Hall B	【ICEA分科会】インパクトは企業価値を高めるのか — ICEA分科会の4要素仮説を議論する	新井 健資（カチタス）、鈴木 善博（Allegro MicroSystems）、髙橋 秀仁（レゾナックHD）、荻原 亘（三井住友DSアセットマネジメント）、田原 純香（IDFI）
16:45	Hall A	【VC分科会】LPはインパクトGPに何を求めるか？ ～インパクトDDQ標準化プロジェクトと日本の視点～	小林 巧（かんぽ生命）、堤 治紀（東京海上HD）、谷ヶ崎 真尚（三菱UFJ銀行）、堤 世良（DGインキュベーション）
16:45	Hall B	インパクト投資の新たなフロンティア：インパクトとリターンの両立 — グローバルサウスへの資本とその意義とは？	Albert Alsina（Mediterrania Capital Partners）、Reihem Roy（Omnivore）、Nakul Zaveri（LeapFrog）、安井 毅裕（JICA）
17:45	懇親会	Impact Frontiers × AIIM 特別レセプション — 報告規範第2版ローンチ記念 —	ネットワーキング

※モデレーターは最後に掲載　／　敬称略　／　IDFI＝インパクト志向金融宣言

当日の様子

2日間を通じて活発な議論が交わされ、国内外の登壇者・参加者がネットワークを広げる場となった。



DAY2　レセプション 集合写真



DAY2　Impact Principles Luncheon



DAY1　基調講演① 経営トップが語るインパクト志向金融



DAY1　金融機関のインパクト・アカウンタビリティ



ネットワーキングの様子

署名機関等からの報告

- サステナビリティ報告書 別冊「Impact Book」のご紹介（農林中金様）
- 欧州でビジネスを行なっている日系企業に対するESRS開示、特にインパクト開示の適用に関する論点（国際監査・保証基準審議会（IAASB）ボードメンバー大野 美希子様）

報告事項

月次収支の状況報告(2026.9月末)

2026/04～2026/09

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
会費収入（2026年度分）	24,130,000	3,284,000	1,300,000	200,000	0	300,000	29,214,000
イベント運営手数料収入	100,000	80,000	0	0	0	0	180,000
コンファレンス協賛金	0	0	3,500,000	2,753,499	4,224,497	0	10,477,996
【売上高合計】	24,230,000	3,364,000	4,800,000	2,953,499	4,224,497	300,000	39,871,996
【売上原価】	0	0	0	0	0	0	0
【売上総利益】	24,230,000	3,364,000	4,800,000	2,953,499	4,224,497	300,000	39,871,996
業務委託費（P）	542,000	1,322,090	1,130,500	1,070,750	1,670,840	962,250	6,698,430
業務委託費（S）	415,800	457,570	391,327	409,676	501,110	587,066	2,762,549
WEB配信費用	0	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000
通訳費用	0	0	0	0	0	1,205,600	1,205,600
写真撮影費用	0	0	0	0	0	220,000	220,000
業務委託費（研修）	0	0	0	550,000	0	0	550,000
旅費交通費	3,406	3,472	1,736	0	2,272	21,360	32,246
近距離交通費	3,406	3,472	1,736	0	2,272	0	10,886
補助科目なし	0	0	0	0	0	21,360	21,360
通信費	432	2,487	171,152	432	432	432	175,367
通信費（代表電話）	432	432	432	432	432	432	2,592
ドメイン登録料	0	2,055	0	0	0	0	2,055
Googleライセンス費用	0	0	170,720	0	0	0	170,720
印刷製本費	0	0	0	0	0	88,418	88,418
備品・消耗品費	3,300	6,600	0	0	3,300	6,879	20,079
支払手数料	1,980	2,475	2,640	2,970	2,805	4,950	17,820
システム構築費	0	8,250	37,125	60,500	149,875	170,500	426,250
支払報酬	0	0	0	0	0	150,000	150,000
会議費	0	0	0	37,290	14,000	4,467,650	4,518,940
協賛金	0	0	0	0	0	600,000	600,000
雑費	55,000	0	0	0	0	0	55,000
視察アレンジ費用	55,000	0	0	0	0	0	55,000
【販売費及び一般管理費合計】	1,021,918	1,802,944	1,734,480	2,131,618	2,344,634	9,485,105	18,520,699
【営業利益】	23,208,082	1,561,056	3,065,520	821,881	1,879,863	-9,185,105	21,351,297
受取利息	0	0	0	0	50,521	0	50,521
【営業外収益合計】	0	0	0	0	50,521	0	50,521
【営業外費用合計】	0	0	0	0	0	0	0
【経常利益】	23,208,082	1,561,056	3,065,520	821,881	1,930,384	-9,185,105	21,401,818
【特別利益合計】	0	0	0	0	0	0	0
【特別損失合計】	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	23,208,082	1,561,056	3,065,520	821,881	1,930,384	-9,185,105	21,401,818
【当期純利益】	23,208,082	1,561,056	3,065,520	821,881	1,930,384	-9,185,105	21,401,818

未入金（既存署名機関）

今後入金予定
（新規署名機関）

SIP（11月末）

21,401,818円　(今年度収支)
+　22,771,653円（繰越金）
＝44,173,471円(9.30残高)

今後の予定、事務局連絡

- **今後の全署名機関向けリアルギャザリング（旧　WL会合）**
  2027年 1月22日（金）

- **年次総会**
  （仮）2027年 4月22日（木）